

2014年6月16日

各位

京都水族館

世界三大恐竜博物館

福井県立恐竜博物館 × 京都水族館

「京都水族館に『恐竜』がやって来る！」

～古代の海から“つながるいのち”を学ぼう～

▶ 全長約6メートルの大型恐竜の全身骨格標本が「交流プラザ」に登場



◆夏期営業時間延長のお知らせ◆

【9:00～18:00】

7月19日(土)～21日(月・祝)、
8月9日(土)、17日(日)

【9:00～20:00】

8月10日(日)～16日(土)

※最終入館は閉館の1時間前まで

『京都水族館』(京都市下京区、館長:榊原 茂)は、世界三大恐竜博物館である福井県立恐竜博物館(福井県勝山市)の協力のもと、「京都水族館に『恐竜』がやって来る！」をテーマに、企画展示やワークショップなどを2014年7月19日(土)～9月24日(水)の期間に開催します。

「京都水族館に『恐竜』がやって来る！」では、水族館のいきものたちに囲まれながら、古代生物と現存するいきものとの違いや共通点を知っていただくことを目的に、館内5か所に「恐竜」の標本や、生きた化石とも呼ばれる古代魚「ポリプテルス・ビキール・ビキール」などを展示します。5つの展示ゾーンでは“恐竜博士(※)”が登場し、古代と現存するいきものの歴史や進化について解説パネルで楽しく学んでいただけます。また、「交流プラザ」には全長約6メートルの「トゥオジャンゴサウルス」など計3点の「恐竜」の全身骨格標本を展示する「恐竜プラザ」が登場します。そのほか、カフェでは「恐竜パン」や「発掘パフェ」などの「恐竜」にちなんだメニューを販売します。子供から大人までみんなを魅了する「恐竜」たちと、その進化した姿である現存するいきものたちとのコラボレーションを楽しめる、夏の京都水族館に、ぜひお越しください。

(※)恐竜博士…福井県立恐竜博物館のキャラクターです。

1. いきものたちの歴史や進化を“恐竜博士”が解説します
「恐竜たちと水族館～古代の海からつながるいのちを学ぼう～」
2. 大型恐竜の全身骨格標本を展示する「恐竜プラザ」が登場！
3. 「福井県立恐竜博物館×京都水族館 スペシャル Talk」
4. 国内最大規模！新感覚の砂「キネティックサンド」の砂場で、
ワークショップ「砂でつくる 古代の海」を開催
5. カフェでは「恐竜パン」や「発掘パフェ」などを販売

1. いきものたちの歴史や進化を“恐竜博士”が解説します

「恐竜たちと水族館 ～古代の海からつながるいのちを学ぼう～」



(左図)
特別展示ゾーンのパネル
イメージ
(右図)
“恐竜博士”のイメージ

京都水族館内5か所に特別展示ゾーンを設け、「恐竜」および古代生物の標本や、魚の化石などを展示します。各ゾーンでは“恐竜博士”が登場し、「恐竜」をはじめとした古代のいきものと現代のいきものとの間に、どのようなつながりがあるのか？などについて、解説パネルで楽しく学んでいただけます。

開催日：2014年7月19日(土)～9月24日(水)

展示ゾーン① 水から陸へ？

「恐竜」が誕生するより昔、現在から約3億年以上前にはじめて水中から陸で生活をするようになった、歴史上最も古い両生類のひとつが「イクチオステガ」です。その姿に似た、生きた化石と呼ばれる世界最大の両生類「オオサンショウウオ」と「イクチオステガ」を比較し、いきものが生活の場所や形を変えていく過程を学べます。



「イクチオステガ」の部分骨格

場所：京の川ゾーン

展示標本：2点(イクチオステガの部分骨格(複製)、チャンプソサウルスの3D組立骨格(実物))

展示ゾーン② ペンギンって恐竜？



(左図)ペンギンの化石 (右図)「ケープペンギン」

ペンギンは鳥類の一種ですが、恐竜時代の原始的な鳥類である「イクチオルニス」や、ペンギンと同様に海に潜り魚を食べたといわれる「ヘスペロルニス」の骨格標本とペンギンの化石を比較しながらご覧いただけます。また、なぜ鳥類が「恐竜」の仲間と考えられているのか？などについて紹介します。

場所：1階 ペンギンゾーン

展示標本：4点(イクチオルニスの3D組立骨格(複製)、ヘスペロルニスの3D組立骨格(複製)、始祖鳥(ベルリン標本)(複製)、ペンギンの化石(実物))

展示ゾーン③ 恐竜時代にも魚はいた？

恐竜時代の中でも白亜紀に生きていた硬骨魚類（※）の化石を展示します。魚類が、恐竜時代からその姿を大きく変えることなく現在にいたった理由はなにか？「大水槽」を泳ぐ魚たちをよく観察しながら、その違いや共通点を探してみてください。

（※）硬骨魚類…骨格の大部分が硬骨で出来ており、浮袋があることなどが特徴で魚類の約90%以上を占める



シーラカンスの仲間（アクセルロディクチス）

場 所：1階 大水槽前

展示標本：6点（シーラカンスの仲間（アクセルロディクチス）、カラモプレウルス・シリンドリクス、プランネリオン、アラリペレピドテス、オシュニア、クラドキルス・フェルス）

展示ゾーン④ 魚を食べた巨大恐竜と古代魚

魚を食べたといわれる恐竜「スピノサウルス」の^{どうつい}胴椎化石や、体の細部に古い形質が残っているため「生きた化石」と呼ばれる、アフリカ大陸の河川のみ^{どうつい}に生息する「ポリプテルス」の仲間を展示します。また、1809年に刊行された遺産的書物「エジプト誌（※）」の博物学編に収められた「ポリプテルス・ビキール・ビキール」の銅版画（初版）も特別展示します。

（※）「エジプト誌」…1798年からナポレオンが、フランス軍と学術調査団を率いて行った、エジプト遠征における調査結果をまとめた書物（全23巻）。



©湧口 真行

「ポリプテルス・ビキール・ビキール」

場 所：1階 大水槽出口

展示生物：3種約5点

（ポリプテルス・アンソルギー、ポリプテルス・エンドリケリー、ポリプテルス・ビキール・ビキール）

展示標本：2点（スピノサウルスの胴椎、スコミムスの下あご）

展示ゾーン⑤ アンモナイトは貝じゃない？

きれいならせん状に巻いた殻が特徴の、古代生物「アンモナイト」と、「アンモナイト」にそっくりな現存の「オウムガイ」との違いについて学べるコーナーです。外見だけではなかなかわかりませんが、殻の中にはどんな秘密がかくされているのか？これらが何の仲間なのか？などについて学べます。



（左図）アンモナイトの化石



（右図）オウムガイの殻

場 所：海洋ゾーン出口

展示標本：5点（アンモナイト）

2. 大型恐竜の全身骨格標本を展示する「恐竜プラザ」が登場！

「交流プラザ」には、全長6メートルを超える「トゥオジャンゴサウルス」をはじめ計3点の「恐竜」の全身骨格標本を展示する「恐竜プラザ」が登場します。

また、直径約1メートルの巨大なアンモナイトの化石は、見るだけでなく実際に触れることができます。恐竜時代にタイムスリップしたくなるような特別な空間をお楽しみください。



「トゥオジャンゴサウルス」の展示イメージ

場 所：交流プラザ

展示標本：恐竜全身骨格3点(トゥオジャンゴサウルス(複製)、フクイサウルス(複製)他)

触れることができる化石2点(アンモナイト、イノセラムス(二枚貝))

3. 「福井県立恐竜博物館×京都水族館 スペシャル Talk」

いきものたちの歴史や進化について、福井県立恐竜博物館の研究者と京都水族館の飼育スタッフが共同で解説を行います。また、どんな質問にも丁寧にお答えしますので、「そもそも恐竜って何？」といった素朴な疑問からマニアックな質問まで何でも聞いてください。



(左図)福井県立恐竜博物館 主任研究員 佐野晋一氏
(右図)京都水族館 展示飼育部長 下村実

開催日：2014年7月31日(木)、8月25日(月)

開催時間：各日①11:00～ ②13:00～ ③14:00～ ④16:00～ ※各回約15分

開催場所：1階 大水槽前

参加料金：無料

【福井県立恐竜博物館について】

<施設概要>

開館 平成12年度(2000年)7月

場所 福井県勝山市村岡町寺尾51-11(かつやま恐竜の森内)

延床面積 約15,000㎡

建築規模 地上3階、地下1階

<概要>

福井県立恐竜博物館は、恐竜資料の収蔵点数、日本一を誇る自然史博物館で、42体もの恐竜全身骨格を常設展示しています。福井県勝山市で、25年にわたって恐竜化石の発掘調査を継続しており、これまでに3種の新種の恐竜を発見し、論文を発表しました。平成25年度には年間70万人を超える来場者がありました。

4. 国内最大規模！新感覚の砂「キネティックサンド」の砂場で、 ワークショップ「砂でつくる古代の海」を開催

「交流プラザ」では、新感覚の砂「キネティックサンド」の砂場が国内最大規模(約7m×約2.5m)で登場します。「キネティックサンド」は、指や手に張り付かずに粘土のような感覚で自由に造形が楽しめるため、「古代の海のいきもの」や「魚を食べる恐竜」などを想像しながら、砂で好きな形のいきものを作っていただけます。お子さまから大人まで、初めて体験する砂の感触を楽しみながら、古代の海に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



新感覚の砂で、古代のいきものを作ってみよう。



固まった砂も厚紙でサクッと切ることができます。

開催日：2014年7月19日(土)～9月24日(水)

開催時間：10:00～ ※1回あたり約15分

開催場所：交流プラザ ワークショップスペース

参加対象：3歳以上(小学生未満は保護者同伴)

参加料金：無料

参加定員：なし ※混雑時は整理券を配布

申込方法：交流プラザ「ワークショップカウンター」にて当日受け付け

5. カフェでは「恐竜パン」や「発掘パフェ」などを販売

① 恐竜パン

「ティラノサウルス」の頭の形をイメージした「恐竜パン」を販売します。

パン全体にカスタードクリームがたっぷりと詰まっています、手に取ると「ずっしり」とした重みがあります。

黒豆とちくわを使ったりアルな目の表情もお楽しみください。



パンによって表情の違いもお楽しみいただけます。

販売期間：2014年7月19日(土)～9月24日(水) 販売場所：かいじゅうカフェ

価格：290円(税込み) ※1日限定30個

② 発掘パフェ

「地層」をイメージした甘さ控えめのチョコレートパフェです。チョコレートプリンとコーヒーゼリーで三層の地層を形成し、頂上のソフトクリームから滴るストロベリーソースで、火山が噴火した様子を再現しています。食べていると中から、化石に見立てた「ナッツ」が登場。ナッツを探す楽しさと、サクサクとした食感を同時にお楽しみいただけます。



食べるほどに「地層」の味が変化していきます。

販売期間：2014年7月19日(土)～9月24日(水) 販売場所：かいじゅうカフェ

価格：500円(税込み)

③ 京野菜恐竜バーガー

ハーベストカフェでお馴染みのバーガーシリーズが、この夏「恐竜」バージョンに大変身。「恐竜」の足型をした、やわらかなバンズの中に、京野菜の壬生菜と焼肉を挟みこみました。少しピリっとした四川風のタレがアクセントになり、ビールにも良く合う、ボリュームもたっぷりの一品です。



男性も満足のボリュームたっぷりの一品です。

販売期間：2014年7月19日(土)～9月24日(水) 販売場所：ハーベストカフェ

価格：460円(税込み)

【施設概要】

施設名称	京都水族館			
運営会社	オリックス不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:山谷佳之)			
場所	京都市下京区観喜寺町 35-1(梅小路公園内)			
営業時間	9:00～17:00 ※ただし、GW、夏休み、年末年始は変更あり ※入場受け付けは閉館の1時間前まで ※チケットおよび年間パスポートの購入・手続きの受け付けは閉館の1時間前まで ※気象状況等により営業時間を変更する場合があります			
休館日	なし(年中無休) ※施設点検、気象状況などで臨時休業あり			
料金(税込)	【個人のお客様】			
		大人	大学・ 高校生	中・小学生 幼児 (3歳以上)
	一般料金	2,050円	1,550円	1,000円 600円
	※中学生、高校生、大学生の方は、チケット売り場で生徒手帳をご提示ください。 ※障がい者手帳をご提示の方とご同伴者(1名様)は、入場料金が一般料金の半額(一円単位は四捨五入)になります。			
	年間パスポート	4,100円	3,100円	2,000円 1,200円
	※中学生、高校生、大学生の方は、チケット売り場で生徒手帳をご提示ください。 ※障がい者手帳をご提示の方は、年会費が半額となります。			
	【団体のお客様】			
	一般団体(20名様以上)	1,800円	1,350円	900円 540円
	※事前のご予約なく団体でご来館いただいた場合、一般の列にお並びいただくことや、 混雑状況によりご入場をお断りする場合があります。			
	学校団体 ※引率教員の方は無料 (一部上限あり)	保護者・ 高校生以上	中学生	小学生 園児 (0歳から有料)
	1,200円	720円	500円 360円	
※学校の行事としてのご入場に際して適用をいたします。				
アクセス	<p><徒歩の方></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「京都」駅中央口より西へ徒歩約 15 分 ●JR 山陰本線「丹波口」駅より南へ徒歩約 15 分 <p><バスをご利用の方></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「京都」駅より、京都市バスで約 8 分「七条大宮・京都水族館前」停下車、京阪京都交通で約 5 分「七条大宮・京都水族館前」停下車、または西日本 JR バスで約 5 分「七条大宮・京都水族館前」停下車 土日祝は京都市バス「水族館シャトル」「水族館・東山ライン」「東寺・水族館・西本願寺 EXPRESS」「岡崎・東山・梅小路 Express」が運行(乗車時間約 5 分) ●阪急「大宮」駅より、京都市バスで約 8 分「七条大宮・京都水族館前」停下車 ●阪急「桂」駅より、京阪京都交通で約 16 分「七条大宮・京都水族館前」停下車 ●京阪「七条」駅より、京都市バスで約 14 分「七条大宮・京都水族館前」停下車 土日祝は京都市バス「水族館・東山ライン」が運行(乗車時間約 9 分) ●地下鉄・JR「二条」駅より、京都市バスで約 13 分「七条大宮・京都水族館前」停下車 			
館内構成	京の川ゾーン、かいじゅうゾーン、ペンギンゾーン、大水槽、海洋ゾーン、交流プラザ、イルカスタジアム、山紫水明ゾーン、京の里山ゾーン			

<本件に関するお問い合わせ先>

京都水族館 広報室 関・名倉

TEL:075-354-3116 FAX:075-354-3152 MAIL:press-kyoto@orix-aqua.co.jp